

立命館大学大学院

スポーツ健康科学研究科

博士課程前期課程／博士課程後期課程

Graduate School of Sport and Health Science

2016

スポーツ健康科学分野の研究を深め、新たな理論を構築し 広く社会に貢献するグローバル・リーダーを目指す

MESSAGE

スポーツ健康科学分野において、高度な実践力とリーダーシップを備えた人材を育成します

2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が決定し、人々の健康志向やスポーツへの関心がますます高まっている中、私たちの周りには不正確な情報が氾濫しています。このような現状の中、科学的根拠に基づいた身体活動・運動に関する情報、スポーツ競技力向上のためのトレーニング法を研究推進することは、現代社会の大きなニーズとなっています。

本研究科は、2010年度に修士課程を学部と同時に開設、2012年度に博士課程後期課程を新設し、2014年度には初めての課程博士を輩出しました。学部・博士課程前期課程・博士課程後期課程という貫したスポーツ健康科学に関する教育・研究の枠組みが、学生の旺盛な科学的真理究明への探究心や、教職員一体となった取り組みにより、国内外で高い評価を得るようになっていきます。

本研究科博士課程前期課程は、「身体運動科学領域」と「スポーツ人文社会科学領域」の2つの領域に分かれ、スポーツと健康を科学的視点で捉えた総合的・学際的な教育・研究を行います。スポーツ健康科学分野の専門知識と共に、高度な実践力とリーダーシップを備え、社会の発展に寄与する高度専門職業人を養成します。博士課程後期課程は、「スポーツ健康科学」の1専攻とし、スポーツ健康科学分野において世界に通じる実践的研究者を養成します。

本研究科では多くの学生が国内外の学会で研究発表しており、世界に羽ばたくチャンスを得ることができます。本研究科における教育・研究を通して、理論と実践の両面から知識を深め、自らの知見と行動によって活躍のフィールドを切り開き、学びを進化させてください。本研究科では、社会的要請の高まるスポーツ健康科学という研究分野で、世界を相手に激しい競争を勝ち抜こうという、志の高い学生の入学を期待しています。

立命館大学大学院
スポーツ健康科学研究科 研究科長
田畑 泉 教授

Itatata

FEATURE

1 スポーツパフォーマンスを科学的アプローチから解析する

人の動きや動作、競技スポーツ選手の心身や技術について、科学的アプローチからメカニズムを理解し、対象のニーズに合致した適切な運動プログラムやトレーニング機器を開発・指導できる専門力量を養成します。



2 健康の維持・増進を科学的根拠に基づき解明する

医学的知識、運動療法などに対する専門知識を深め、健康と体力の維持・増進に関する先端的な理論や実践手法を探究します。健康づくりのスペシャリストとして必要不可欠な課題解決能力を養成します。



3 スポーツ健康科学分野の教育・マネジメント専門力量を鍛える

スポーツ健康科学分野における教育・マネジメントに関する専門知識を深めます。企業だけではなく、教育組織、地域などを対象に、関連分野をリードする人材に必要な高度な教育・マネジメント力量を育成します。



CURRICULUM

前期課程	基礎科目	共通基礎科目	科学研究特論 ^(●)	研究調査特論 ^(●)	リーダーシップ特論 ^(●)	専門英語 ^(●)	
		専門基礎科目	身体運動科学特論 ^(ス)	スポーツ人文社会科学特論 ^(身)			
	展開科目	身体運動科学領域	スポーツトレーニング特論 バイオメカニクス特論	運動生理・生化学特論 スポーツ工学特論	健康増進科学特論 運動処方特論		
		スポーツ人文社会科学領域	スポーツ教育学特論 スポーツマネジメント特論	スポーツ栄養教育学特論 スポーツマーケティング特論	コーチング行動学特論 スポーツビジネス特論		
		特殊講義	スポーツ健康科学特論				
		キャリア形成科目	スポーツ健康科学キャリアプロジェクト ^(●)		インターンシップ	外国留学科目	
	演習科目	演習	身体運動科学演習Ⅰ～Ⅲ ^(身)	スポーツ人文社会科学演習Ⅰ～Ⅲ ^(ス)			
		研究指導	研究指導Ⅰ	研究指導Ⅱ ^(●)			
	自由科目		単位互換履修科目		大学院コーオブ演習		
	後期課程	講義科目		先端スポーツ健康科学特論Ⅰ・Ⅱ			
実習科目		学外学習Ⅰ・Ⅱ					
演習科目		先端スポーツ健康科学特別研究Ⅰ～Ⅳ					

(●):必修 (身):身体運動科学領域は必修 (ス):スポーツ人文社会科学領域は必修

INTERVIEW

スポーツと健康を科学的な視点で捉えた最先端の理論を学び、研究を実践しています



前田 奈穂さん
博士課程前期課程1回生
(東海大学体育学部卒業)

**多様なアスリートの体力づくりを支える
ストレンクス&コンディショニングコーチが目標**
スポーツ選手に対する適切なトレーニング・食事・体調の調整方法などの指導を行うストレンクス&コンディショニングコーチを目指しています。将来、現場で活動していく際に、多様なアスリートのトレーニングを支える上で役立つ指標があればと考え、血液中の鉄分に注目しました。研究テーマは「短期間の高強度トレーニングが赤血球および鉄代謝動態に及ぼす影響」です。持久力が求められる長距離の選手や、成長期に鉄分が奪われやすいジュニア世代の選手たちのコンディショニングづくりやオーバートレーニングの予防に役立つ研究成果を出せるよう精進していきます。



塚本 敏人さん
博士課程後期課程1回生
日本学術振興会特別研究員DC1
(東洋大学卒業・立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科博士課程前期課程修了)

**なぜ、運動で認知機能が亢進するのか？
生理学的メカニズムの解明に挑戦**
私の研究テーマは「なぜ、運動で認知機能が亢進するのか？」。その生理学的なメカニズムを明らかにすることで、より効果的に認知機能を高める運動処方や栄養処方などを提案できるのではないかと考えています。指導教員をはじめ先生方は気さくで面倒見がよく、学生の意見を尊重してくださるので高いモチベーションを持って研究課題に取り組みます。また、本研究科では研究成果がHPで発信されるなど、頑張ったことが評価されているという実感が得られます。今春から私は日本学術振興会特別研究員に採用されました。その身に伴う責任と使命を自覚し、「健康寿命の延伸」という人類の半永久的な命題の解決に迫りたいと思います。



小西 可奈さん
博士課程後期課程3回生
日本学術振興会特別研究員DC2
(京都女子大学卒業・立命館大学大学院スポーツ健康科学研究科博士課程前期課程修了)

**中枢性疲労の低減に効果のある
栄養摂取方法や栄養教育方法を開発**
本研究科では、共同の院生研究室や研究報告会等で心理学や運動生理学など他分野の学生と頻繁にコミュニケーションがとれる環境があります。他の学生が熱心に研究活動に取り組む姿を見て、自分も頑張らねばと刺激されますし、スポーツ健康科学分野に関わる幅広い知識や手法を吸収できるのが本研究科の良さだと感じています。研究テーマは「競技スポーツにおける糖質摂取の疲労軽減効果」。まだ研究が進んでいない中枢性疲労に着目して、その軽減に効果のある栄養素について探っています。研究で成果を挙げ、エビデンスに基づいた栄養摂取方法や栄養教育方法を現場のアスリートに還元したいです。

高度な研究実績と豊かな教育経験を有する国内外トップレベルの教員が指導します

身体運動科学領域

CLOSE-UP 01

CLOSE-UP 02



長野 明紀 教授 ◆

専門分野
バイオサイバネティクス、バイオメカニクス

主な研究テーマ
人体の運動制御のメカニズムに関する研究
運動機能向上のための工学的支援

経歴・業績
アリゾナ州立大学学際的博士課程プログラム修了。日本バイオメカニクス学会賞を受賞。国際誌・国内誌に多数の論文のほか、「バイオメカニクスー人体運動の力学と制御」等の訳書がある。日本バイオメカニクス学会理事。

人間の運動機能はどのように発現しているか
力学の観点から解き明かす

人間の運動機能がどのようにして発現しているかを理解すること、さらにこれらの機能を改善・拡張するための支援を行うことを目指しています。私の場合、主に力学的観点から研究を進めているのが特徴です。身体の運動はかなり力学的に支配されているところがあるので。研究をしていて、力学、もっと遡って数学の法則から、効率の良い動作の秘密が解き明かせたときは面白いですね。

授業では「専門英語」と「バイオメカニクス特論」を担当しています。「専門英語」では自然科学系の英語論文を題材として論理展開の読み解き方・構築方法を中心に解説・演習を行っています。論文には論理構成のパターンがあるのでこれを頭に入れておくと、とても読みやすくなります。研究者は将来必ず英語で論文を書くことが求められるので、文章のスタイルも含めてどのように論理展開するべきか指導しています。「バイオメカニクス特論」では、3次元の運動学と動力学を扱っています。運動に伴って、身体のどこでどんな力が働いているのかーモーションキャプチャー装置などを用いた3次元の運動学的データの取得方法、その解析の基礎となる数学、解析力学を用いた運動方程式の導出方法などについて講義・演習しています。本研究科では、高度な実践力と知識を身につけられるカリキュラムが整っています。いつか研究者として独り立ちする日に備えて、オリジナリティある仕事を一生続けていけるだけの「地力」を在学中につけていただきたいと思います。



田畑 泉 教授 ◆

専門分野
スポーツ健康科学

主な研究テーマ
スポーツの競技力向上のためのトレーニング法の開発、健康増進のための身体活動・運動に関する研究

経歴・業績
東京大学大学院教育学研究科体育学専攻博士課程中退。国立健康・栄養研究所健康増進部部長等を経て、本研究科長に。開発したトレーニング理論・方法である「タバタ・プロトコル」は世界的に有名。

スポーツと健康をバランスよく学び、
運動で世の中を健康にすることの伝道者に

運動をしている人は大腸ガンになる確率が低いことが疫学調査で明らかになっています。では、なぜ運動にガン予防効果があるのか。実は運動をすると筋肉からSPARCというタンパク質が出て、これがガンになる細胞を壊しているのです。こうした身体活動・運動による大腸ガン発症予防の仕組みに関する研究から、糖尿病予防・治療に対する運動の効果に関する研究、さらにはスピードスケートの選手が行っていたトレーニングを分析した結果から生まれた「タバタ・プロトコル」のようなスポーツ競技力向上のためのトレーニング法の開発まで、幅広い研究テーマを扱っています。これらの研究もそうですが、研究では、わからないことを解決することによって次のわからないことが発見され、それをさらに解決するための実験を行うという繰り返しです。いつもわくわくするような気分で学べるのが本研究科の面白いところですね。総合的・学際的に学べるのも特徴です。あるときは「健康」、あるときは「スポーツ」というふうに、両方バランスよく学ぶことで、新たな視点や気づきが得られるというシナジー効果で研究がさらに広がります。

本研究科は「日本」「世界」という高い目標に向かって全教員が一つになっている点の特徴です。それだけに、世界を相手に激しい競争を勝ち抜こうという志の高い学生の入学を期待しています。修了後の進路は様々でしょうが、「運動で世の中を健康にすることの伝道者になってほしい」というのが私の願いです。

スポーツ人文社会科学領域

CLOSE-UP 03

CLOSE-UP 04



上田 憲嗣 准教授

専門分野
スポーツ教育学・体育科教育学・発達発達学

主な研究テーマ
子ども期の動作コーディネーション能力の向上に関する研究

経歴・業績
鳴門教育大学大学院学校教育研究科修士課程修了。吉備国際大学准教授を経て、2015年度より本研究科に。共訳書に「初歩の動作学ートレーニング学」など。

学際的な学びを深めつつ、
実際の教育現場にもふれながら実践力を養う

大学院では、自身の興味がある、あるいはすでに自身で取り組んでいる研究領域の課題に対して自律的に取り組んでいくことが求められます。ですので指導にあたっては、学生自身の研究テーマを尊重し、自主的に取り組めるよう配慮しています。私自身は、幼児期から児童期の運動発達の特徴である神経系の運動能力(動作コーディネーション能力)の発達を促進するための基礎的考え方から、具体的方法、診断測定の方法などを中心に研究しています。実際に教育現場へ入り、子どもたちにバランス運動やジグザグの走り等コントロール系を高める運動をしてもらい、その前後で効果を測っています。従来の体力テストでは、体格の小さい子や筋力が未発達の子が評価されにくい面がありましたが、そこに動作コーディネーション能力による新しい評価を入れることで、一人ひとりの子どもに応じて、よりの確な運動指導ができるようになると考えています。

本研究科は、身体運動科学領域とスポーツ人文社会科学領域が融合し、高いレベルで学際的な学びができることが大きな魅力です。そのなかで、学生は研究活動を通じて、社会に貢献する意味を追求したり、人を育てる実践力を身につけることができます。私の研究もそうですが、小学校で多くの子どもたちと関わる経験を積めたり、実際の教育現場に関わるチャンスが数多くあります。とりわけ将来指導者を目指している人にとっては、そういう点も大きなメリットといえるでしょう。



小沢 道紀 准教授

専門分野
経営学（マーケティング）

主な研究テーマ
スポーツならびに健康に関わるマーケティングの展開

経歴・業績
立命館大学大学院経営学研究科博士課程後期課程中退。立命館大学アカデミックセンター副センター長・草津未来研究所副所長として社会人教育や地域活性化に取り組む。

スポーツの楽しさ・価値をいかに伝えるか――
マーケティングの視点からスポーツ振興に貢献

マーケティングでは、売れると思ったものを売るのではなく、顧客のニーズがあるものを売っていくという立場に立ちます。例えば、「自分はスポーツが好きだから、こんなに好きなものは売れるはず」という考え方ではなく、「スポーツを好きでない人が好きになるようなきっかけやニーズはあるのか」という事を考えてマーケティング活動をおこなっていきます。

現在、私は「Jリーグの観客動員に関わる研究」に取り組んでいます。昨年は、Jリーグと協働でセレッソ大阪の観客動員に関するマーケティング調査を行いました。結果として、いわゆる「セレ女」と呼ばれている人たちは、決して元々サッカー好きだったのではなく、別のきっかけからファンになり、試合に行ってみて、段々と応援する楽しみを知っていったという事がわかりました。そして、セレッソ大阪ではこの新しいファン層が増えることで、観客動員数の増加につながっていたのです。

また、Jリーグとの協働として、「Jリーグヒューマンキャピタル(JHC)」の「Jリーグ・立命館 JHC教育・研修コース」のコーディネーターとしても活動をしています。

本研究科には、様々な学問領域の専門家が集まっています。この事で、高度な専門性だけでなく、幅広い視点や思考に接する機会があります。新しい視点や新しい思考は、このような幅広い視点や思考を組み合わせることから生まれてきます。自分が現在興味のある事だけに取り組むのではなく、様々な知識を知り、複合させて考える機会があるのが、本研究科の大きな特徴と言えます。

 **家光 素行 教授 ◆**
専門分野
スポーツ生理・生化学
主な研究テーマ
遺伝情報から見た最適なトレーニング法を探る

 **伊坂 忠夫 教授 ◆**
専門分野
スポーツバイオメカニクス、スポーツ科学
主な研究テーマ
スポーツ競技力ならびに日常生活を高めるための応用バイオメカニクス

 **真田 樹義 教授 ◆**
専門分野
運動処方、応用健康科学
主な研究テーマ
生活習慣病予防のためのテーラードメイド運動処方の研究

 **浜岡 隆文 教授 ◆**
専門分野
スポーツ医学、環境医学
主な研究テーマ
環境や運動量の違いによる筋肉の代謝の適応についての研究

 **海老 久美子 教授 ◆**
専門分野
スポーツ栄養学、栄養教育論
主な研究テーマ
栄養的支援と食教育の効果についての研究

 **岡本 直輝 教授 ◆**
専門分野
コーチング
主な研究テーマ
競技力向上に関するコーチング研究

 **佐久間 春夫 教授 ◆**
専門分野
スポーツ心理学、精神生理学、健康心理学、スポーツ統計
主な研究テーマ
運動・スポーツの心理的側面に関する科学的根拠を探る

 **種子田 穰 教授 ◆**
専門分野
スポーツマネジメント
主な研究テーマ
プロスポーツビジネスモデルの研究

 **藤田 聡 教授 ◆**
専門分野
運動生理・生化学
主な研究テーマ
効率的な骨格筋肥大を目的とした運動と栄養摂取に関する研究

 **後藤 一成 准教授 ◆**
専門分野
トレーニング科学
主な研究テーマ
スポーツ選手の競技力向上のための低酸素トレーニングや健康増進のためのトレーニングに関する研究

 **塩澤 成弘 准教授 ◆**
専門分野
スポーツ工学、生体工学、医用工学
主な研究テーマ
工学的アプローチでスポーツ・健康を科学する

 **橋本 健志 准教授 ◆**
専門分野
運動生理・生化学
主な研究テーマ
糖や脂肪燃焼の亢進および乳酸の有効利用に関する研究

 **大友 智 教授 ◆**
専門分野
スポーツ教育学・体育科教育学
主な研究テーマ
スポーツ指導場面・体育学習場面における学習者の行動研究

 **永浜 明子 准教授 ◆**
専門分野
学校保健学、アダプテッドスポーツ
主な研究テーマ
インクルーシブ体育のあり方、指導者育成に関する研究

 **山浦 一保 准教授 ◆**
専門分野
産業・組織心理学
主な研究テーマ
チームのより良い人間関係の形成に関する心理学的研究

 **長積 仁 教授 ◆**
専門分野
スポーツマネジメント
主な研究テーマ
スポーツ振興とまちづくり

◆：博士課程後期課程で研究指導担当可 ◇：博士課程前期課程の英語関連科目のみ担当

修了生 修士論文・博士論文テーマ例

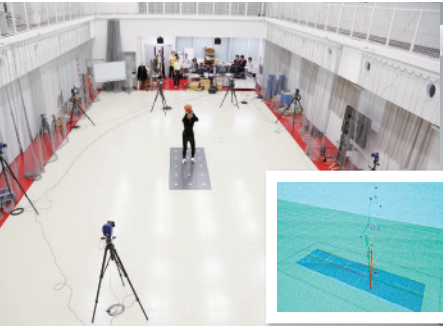
- 疲労困憊に至らない高強度・短時間・間欠的クロストレーニングが最大酸素摂取量に及ぼす影響
- 加速期疾走速度生成における肩甲骨の役割の検討
- 高校生女子陸上競技選手への栄養支援による疲労骨折のリスク低下および予防に関する検討
- 認知機能亢進のための運動・栄養介入の検討
- 低強度運動と乳酸・カフェインの併用が骨格筋肥大因子に与える影響の解析
- 12ヶ月間の歩行運動介入が高齢者の睡眠およびメンタルヘルスに与える影響
- 失敗時における指導者の懲罰に対する認知が選手の学習行動に与える影響ー選手と指導者の関係性に着目してー

- 大学アスリートの自己調整学習を促すリーダーシップ行動と目標志向性に関する研究
- 野球打撃におけるバスター動作活用法の検討
- ランニングクラブの価値共創における顧客のオペラント資源の適用がベネフィットの享受に与える影響
- スポーツNPOにおけるタスク・コンフリクトが組織市民行動に与える影響ー目標の受容に着目してー
- 健康増進をねらいとした低酸素環境での運動の効果に関する研究
- 近赤外線時間分解分光法を用いたヒト褐色脂肪組織の新しい評価法

●：修士論文 ■：博士論文

 **祐伯 敦史 准教授 ◆**
専門分野
神経言語学
主な研究テーマ
言語理解や習得のプロセスについての研究





①スポーツパフォーマンス測定室

野球やゴルフ、ランニングなどのスポーツ動作をはじめ、あらゆる動作の計測・解析が行える多目的スペース。複数のハイスピードカメラを設置しており、投げたボールの回転をスローモーションで観察するなどの相対分析も可能です。



ハイスピードカメラ



②エネルギー代謝測定室

日常に近い状態で生活し、1日の正確なエネルギー消費量を測定することができます。



③低酸素トレーニング室・低酸素実験室

低酸素環境でのトレーニングが身体に与える影響を解析することができます。



④院生研究室1

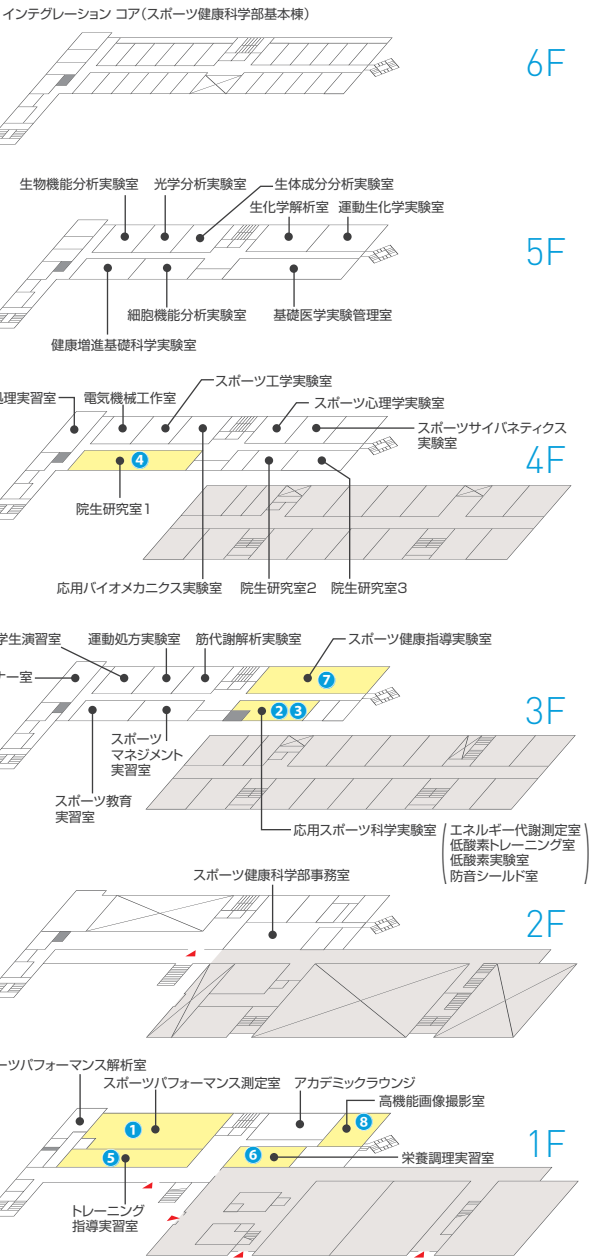
本研究科所属大学院生用の共同研究室。チャレルデスクを全50台配置しています。



⑥トレーニング指導実習室

トップアスリートの筋力増加を目的とした各種のトレーニングマシンやフリーウェイト機器を完備。現場におけるトレーニング指導技術の習得を目指します。

最新鋭の施設・設備と最先端の実験機器が、高度な研究活動を可能に



⑥栄養調理実習室

システムキッチンや調理器具を整備し、栄養価の高い料理を実際に調理することが可能です。また、ダイニング部分は、子どもから高齢者までを対象とした「食育」実践を行う場として活用できます。



⑦スポーツ健康指導実験室

健康づくりのための身体活動・運動に関する応用研究を行う実験室。個人の体型を3次元で瞬時に解析できる「3次元人体計測システム」や「超音波画像診断装置」など、多様な機器を設置しています。



⑧高機能画像撮影室

人間の体内の状態や脳内の働きを調べることができる「MRシステム」、骨密度や体脂肪などの体組成を推定する「骨密度測定装置」を設置しています。



プレゼンテーション能力をはじめ、社会で役立つ実践的な能力が身につきました

本研究科は、社会に出てから役立つ実践的な能力が身につくのが魅力です。まずはプレゼンテーションなどの発信力。とくにパソコンを使っているプレゼンテーション能力はどの企業においても必要になってきます。研究科では、授業や研究報告会をはじめ、プレゼンテーションの機会をたくさん与えてもらい、多くの先生方からの確かなアドバイスをいただきました。

更には、在学中にアメリカスポーツ医学会の学会大会において、英語で研究発表・研究交流できたことや、医療機関との共同研究で事前準備や情報共有の重要性を学んだことは、広く世界を知るすばらしい経験になりました。

現在、私はヘルスケア関連の食品の販売に携わっています。本研究科で過ごした2年間で意義のあるものにするために、自分がやるべきことは、人の幸せの根源である「健康」とはなにかを人に伝えていくことだと考え、「営業」という職種を選びました。自社商品を薬局やスーパーに置いていただくためには、人を納得させるだけの根拠をもって説明しなければなりません。本研究科で学んだ生理学や健康科学の全ての知識が、会話に説得力を与える上で大いに役立っている、と日々実感しています。

中山 侑紀さん

スポーツ健康科学研究科博士課程前期課程 2014年度3月修了
(大塚製薬株式会社 ニュートラシューティカルス事業部 勤務)

スポーツ健康科学研究科修了生就職先例 (50音順)				
●(株)インテリジェンス	●教員	●住友生命保険(相)	●(株)東急スポーツオアシス	●(株)東大阪スタジアム
●(株)ウィルグループ	●国立スポーツ科学センター	●全国健康保険協会	●(株)西日本シティ銀行	●ミナト医科学(株)
●大塚製薬(株)	●(株)コンフォートラボ	●(株)ソフトウェア・サービス	●日東メディック(株)	●(株)メディックメディア
●(株)オズマビーアール	●社会保険診療報酬支払基金	●大学職員	●日本シグマックス(株)	●山本光学(株)
●関西テレビ放送(株)	●ジョンソン・エンド・ジョンソン(株)	●地方公務員(上級職)	●(株)Perfect Trainers	●(株)リクルートホールディングス

学費 (※2015年度入学生実績)

●スポーツ健康科学研究科(単位:円)		入学金	1年次授業料
博士課程前期課程	本学園出身者	—	1,178,000
	他大学出身者	300,000	1,018,000
博士課程後期課程	本学園出身者	—	500,000
	他大学出身者	300,000	

2年次以降の授業料等、詳細については、「2016年4月入学 立命館大学大学院入試要項(別冊)」の「学費およびその他納付金について」をご覧ください。

奨学金・支援制度 (※2015年度入学生実績)

立命館大学では大学院生の研究活動をバックアップするための多様な制度を設けています。以下に2015年度実施の一例を挙げています。詳細については「2016年4月入学 立命館大学大学院入試要項(別冊)」の「奨学金・研究助成制度について」をご覧ください。

その他の奨学金・支援制度	
立命館大学大学院進学奨励奨学金	博士課程前期課程(1年次)において、研究科が定めた入試方式による合格者のうち成績優秀者に給付します(授業料に充当)。
立命館大学大学院育英奨学金	博士課程前期課程(1年次)に入学者で、2年次(第3セメスター)在学者を対象に給付します。育英A・Bと後期課程進学奨励の三種の奨学金からなります。
立命館大学大学院博士課程後期課程研究奨励奨学金	在学する優秀な研究業績を有する者の授業料を援助することにより、研究活動を奨励することを目的とした奨学金です。S・A・B給付の三種の奨学金からなります。

Q. スポーツ経験者や理系出身者でなくても入学可能ですか?

A 所属・出身学部や、スポーツの競技経験は問いません。スポーツ健康科学分野における研究に強い意欲を有する方を募集します。ただし、後期課程では、スポーツ健康科学分野における研究実績や修士論文などの提出を要します。

Q. 入学試験は、いつ実施されますか?

A 本研究科の入学時期は4月のみです。入学試験の日程および出願期間などの詳細は、入学前年度の5月頃に配布を開始する入学試験要項をご確認ください。

Q. 入学試験の方式と試験科目は何かありますか?

A 学内進学入試、一般入試、社会人入試、そして外国人留学生入試(前期課程のみ)があります。いずれの方式も、書類選考と筆記(論述)試験、面接試験(前期課程のみ)、口述試験(後期課程のみ)を行います。一般入試では、上記に加え、筆記(英語)試験も実施します。

Q. どのようなキャリア支援が受けられますか?

A 本学キャリアセンターと連携し、学生の社会観・職業観育成、社会における力量形成などを主眼においたキャリア支援を行っています。また、本学ではキャリア形成とキャリアパスの構築を支援するために、大学院キャリアパス推進室を設置しています。

Q. 研究環境について教えてください。

A 本研究科の基本棟には、最新鋭・最先端の設備・実験機器など、国際水準の研究環境が整っており、分野を跨る研究が盛んに行われています。院生研究室にはチャレルデスクを完備し、学習・研究に集中できる環境を整えています。

立命館大学大学院 スポーツ健康科学研究科 2016年度入学試験日程

入学定員	博士課程前期課程	25 名
	博士課程後期課程	8 名

※入学定員は、各課程の全入試方式の募集人数を合わせたものです。

〈博士課程前期課程〉

専攻	入試方式	実施年月	出願期間	試験日	合格発表日	第一次手続期間	第二次手続期間
スポーツ健康科学	学内進学	2015年7月	6/5(金)～6/19(金)	7/11(土)	7/24(金)	7/24(金)～8/21(金)	2/26(金) } 3/11(金)
		2015年10月	8/28(金)～9/11(金)	10/3(土)	10/16(金)	10/16(金)～10/30(金)	
	一般	2015年10月	8/28(金)～9/11(金)	10/3(土)	10/16(金)	10/16(金)～10/30(金)	
		2016年2月	1/8(金)～1/22(金)	2/13(土)	2/26(金)	—	
	社会人	2015年10月	8/28(金)～9/11(金)	10/3(土)	10/16(金)	10/16(金)～10/30(金)	
		2016年2月	1/8(金)～1/22(金)	2/13(土)	2/26(金)	—	
	外国人留学生	2015年10月	8/28(金)～9/11(金)	10/3(土)	10/16(金)	10/16(金)～10/30(金)	
		2016年2月	1/8(金)～1/22(金)	2/13(土)	2/26(金)	—	

〈博士課程後期課程〉

専攻	入試方式	実施年月	出願期間	試験日	合格発表日	第一次手続期間	第二次手続期間
スポーツ健康科学	学内進学	2015年11月	10/16(金)～10/30(金)	11/21(土)	12/4(金)	12/4(金)～12/18(金)	2/26(金) } 3/11(金)
	一般	2015年11月	10/16(金)～10/30(金)	11/21(土)	12/4(金)	12/4(金)～12/18(金)	
		2016年2月	1/8(金)～1/22(金)	2/13(土)	2/26(金)	—	
	社会人	2015年11月	10/16(金)～10/30(金)	11/21(土)	12/4(金)	12/4(金)～12/18(金)	
		2016年2月	1/8(金)～1/22(金)	2/13(土)	2/26(金)	—	

※詳細は「立命館大学大学院入学試験要項2016 スポーツ健康科学研究科」でご確認ください。

また、入学試験に関する情報はホームページでも案内しています。【リッツネット大学院】<http://www.ritsumei.ac.jp/gr/>

■びわこ・さつキャンパス(BKC) への交通アクセス

